



「陶芸教室」～職人さんから伝統工芸品を学ぼう～（6年生）

大堀相馬焼きの職人さんにお越しいただき、2月5日(水)に6年生が器の製作体験を行いました。職人さんから作り方の説明を受けた後、児童それぞれが、日常で使用するための湯飲み茶碗やコーヒーカップ、皿などを作り始めました。粘土で、底になる部分を円形につくり、その周りにひも状に伸ばした粘土を巻き上げるようにして積み上げ、指先で平たく伸ばしながら形を作っていました。粘土の感触を味わうとともに、厚さやゆがみに気をつけながら、思い思いの作品を作りあげました。児童の作品は職人さんに持ち帰っていただき、乾燥・うわぐすり塗り(色づけ)・窯での焼きあげを行っていただきます。子どもたちは、自分の作品がどのように焼きあがってくるか、とても楽しみにしています。

なお、この活動は、公益財団法人JKA「地域ふれあい交流活動」の補助事業として支援を受けております。



平支援学校6年生 との「卒業交流会」(6年生)

2月14日(金)、6年生は、6年間交流を深めてきた平支援学校の6年生と最後の交流会を行いました。毎年2回、平支援学校の皆さんに本校へおいでいただき進めてきた交流ですが、卒業を前にした最後の交流は、本校の児童が平支援学校を訪問して行うことにしています。今回の交流会では、平支援学校のお友達と一緒に「ポッチャ」というゲームを行ったり、6年間の活動の様子を写したスライド(「思い出のアルバム」)を見て懐かしんだり、一緒に「旅立ちの日に」の歌を歌ったりしました。よりよい「共生社会」の担い手となっていく子どもたちにとって、6年間の交流は、とても貴重で、これから生きるすばらしい体験であったと思います。

